

# 『シュヴァインスタイガー家の屋根裏部屋』の漫画のロコミに関するアンケート調査

## ■アンケートの詳細

調査目的	『シュヴァインスタイガー家の屋根裏部屋』の漫画のロコミに関するアンケート調査
調査対象	『シュヴァインスタイガー家の屋根裏部屋』を読んだことのある20代～50代の男女10名
調査期間	2026年6月4日～2026年6月5日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/syuvainsutaigakenoyaneurabeya/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/syuvainsutaigakenoyaneurabeya/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『シュヴァインスタイガー家の屋根裏部屋』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『シュヴァインスタイガー家の屋根裏部屋』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	1人
30代女性	0人
40代男性	4人
40代女性	4人
50代男性	0人
50代女性	1人

Q2:『シュヴァインスタイガー一家の屋根裏部屋』を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～

- ★★★★★(とても面白かった):絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい
- ★★★★(面白かった):漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
- ★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。
- ★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。
- ★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	3人
★★★★	5人
★★★	2人
★★	0人
★	0人

Q3:『シュヴァインスタイガー一家の屋根裏部屋』を実際に読んだ感想を教えてください。

同じ屋根の下に男女の若者たちがいて、そうなりますか。にしてもなんと奔放な。カーテン一枚で仕切られているだけの場所でやり始めたと思ったら、一緒にやろうともう一人を誘い出す。男2人に女一人の幼なじみという誰と誰が付き合うかとかでドロドロになっても不思議ではないところ、一緒にやろうというあっけらかんさがいい。

いわゆるBSS要素強めで、切なくて心をぎゅっと掴まれます。ヒルダちゃんは意外と活発で男勝りなコ。雰囲気的な清楚感も好きです。世界観は中世の村の空気感がでているし、何よりもキャラ描写がすごく丁寧。ゲオルクはいかにもなプレイボーイでガンガン手を出していきます。その積極性と、ルッツの正反対の内向性が印象的でした。

これは日本ではないことは確かですがどこの国なのでしょう。ヒロインはふわふわの巻き毛の女の子で、男女ともに彫りが深く美しい。特に表紙のカラーイラストはまるで絵画で、ぜひオールカラーで見たいなと思えた作品でした。イラストのクオリティが高いのです。その美しい男女が入り乱れて楽しむ姿はなんと美しいですね。

ルッツ視点で描かれる後半のほうがより引き込まれました。ギオは単に嫌なやつというよりは、きちんと友人でもあるので...そこが人間関係の難しい所ですね。ヒルダはかなり奔放というか、相手に求められるとつい感じてそのまま受け入れちゃいます。麗しい肉体美の描写も素晴らしく、若い女性の曲線が丁寧に描かれていました。

まさにこんな時代があったんだろうなと思わせる時代背景の丁寧さがいいですね。ある村での若い男女の姿が生き生きと描かれていて、リアリティがあっていいです。これも三角関係と言うのか、まさかこんなところでやるとはと思ったら、一緒にやろうと誘っていくところも驚きでした。こんな彼らがどうなっていくのかの楽しみです。

中世ドイツの農村部を舞台にした珍しいお話です。こだわり方といい作り込み方といい、なんかもうこのまま女性向けのファンタジー雑誌に載っててもおかしくない完成度でびっくりしました。しかもそれでいて大人向けの度合いも高いという、まさに理想的な作品でもあります。ビジュアルやBSSの設定については好みがかかりますと思いますが、ハマるとたまらない物があるんじゃないでしょうか。

特に女性向けの作品と言えるのではないのでしょうか。ただその場面を楽しむだけでなく、心の動きとか背景とか知って感情的にも登場人物らにもっていきたいと思ってしまうものだから。それにふさわしい丁寧なストーリーです。きっとどこかの時代のどこかの世界に彼らは生きていた。そう思わせるだけのリアリティがあるのです。

昔の海外の農村時代をモチーフにした漫画で、金持ちの農場に若者たちが奉公に来るところから話が始まる。導入が丁寧でヒロイン・イケメン・優男の3人が仕事仲間としてやっている関係性を描いてからの一緒に寝床でイケメンが抜け駆けでヒロインに手を出しちゃう。優男もヒロインが好きだったイケメンには尊敬すら覚えてたというのがかわいそうなところ。ストーリーが面白く、続編が待ち遠しいところ。

よくある青春三角関係ものではあるんですが、17、18世紀の中世の村社会の雰囲気が出ていて、きちんと勉強して構築しているように思えました。ヒルダの女としての魅力はやはり高く、そこがすべてのきっかけ、歯車が狂う理由になっています。濃厚なエピソードでしっかりセリフもキャラに合ったもので、見ごたえがありました。

ゲオルクがもうちょっとクズ的展開なのかと思ったら意外に普通。よくある青春ストーリーで決して奇をてらったものではないです。ただ、淡い恋心を抱いていて、目の前でカップル成立してるのが何とも...という胸焦がすような流れ。内向的すぎるルートヴィックにちょっとイライラしてしまいました。あまりこのキャラ好きじゃないかも。

## 漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス